

みんなで作る『みんなの輪』

今年も文化祭の季節を迎えました。患者さまが作業療法で制作した作品の展示、患者さまとスタッフで創るステージ発表をメインに、秋恒例の行事として毎年多くのみなさまが楽しみにしています。4回目を迎え、ますます充実した「さっぽろ香雪病院 文化祭」の様子をご紹介します。



今年のテーマ「みんなの輪」

今年の文化祭テーマは患者さまから広く募集し、「みんなの輪」に決定しました。「患者さまとスタッフがみんなで一緒に創り上げる」という思いが込められています。

およそ3ヶ月前から実行委員会でご企画し準備を進め、11月7日・8日の両日、文化祭が開催

されました。今年は新たな企画も盛り込み、院内3会場で盛大に行われました。

第1会場 「作業療法室」

作業療法やデイケアのプログラムで患者さまが制作した色とりどりの作品(書道、絵画、写真、和紙工芸、簾細工、陶芸など)244点が展示されました。高齢者デイケア「なのはな」からは、通所されている方のご家族から絵画作品の展示もありました。自分の作品を確かめうれしそうなお方、展示されている作品一つひとつを丁寧に感心しながらご覧になる方など、楽しみ方はそれぞれです。

第2会場 「プレイルーム(体育館)」

今年初めて喫茶コーナーが設けられました。1日目は作業療法プログラム「実践料理の会」に参加されている患者さまとスタッフが、2日目は精神科デイケア「ひまわり」のメンバーとスタッフが担当しました。担当の患者さまは、皆いきいきとした「お客さまに喜んでもらえるように」と精一杯のおもてなしで、

「かぼちゃクイズ」などのゲームも行われ、賑やかな声が響き渡っていました。廊下には、病棟ごとに患者さまが協力して作った大きな貼り絵が展示され、目にする人々に深まる秋とみなさまの創意が伝わります。

第3会場 「サークルルーム(集団療法室)」

今年新たに健康チェックコーナーが設けられました。身長・体重・体脂肪・血圧などの測定と、チェックリストをもとにしたメタボリック・食生活相談などが看護師、管理栄養士によって行われ、2日間で約180名が参加しました。雑談をまじえ普段とはちょっと違うスタッフとの会話の中で、日ごろのおやつや飲み物の摂り方、喫煙について改めて反省する方もいました。壁面には病院紹介のパネルが展示されました。病院の歴史や

総括レクリエーションとしての文化祭

今年も盛況のうちに幕を閉じた文化祭。多くの患者さまやご家族にご協力いただき、また今年から外来患者さまやそのご家族にも足を運んでいただき、「みんなで創り上げる文化祭」として実りあるものとなりました。「文化祭」と言えば、学校行事として思い出される方が多いかもしれませんが、

特に精神科病

院では、レクリエーションの環境として多くの意義を持ちます。たとえば作品展示では、作る人と見る人との間にコミュニケーションが存在します。患者さまが苦労して作り上げた作品にはそれぞれ思い入れがあります。作り手の達成感、それらを見て評価してもらうことで大きな自信につながります。見る側も他人の作品の良いところを見つけ、心の豊かさや向上心が養われます。また、それ以外の出し物の中で、制作段階から患者さまとスタッフの交流を通して絆が深まっています。この文化祭を通して飛躍的に意欲が増した患者さまもいらっしゃいました。会場によっては、参加者のみなさまをお待たせするコーナーもあり、会場配置や広報の仕方などの課題も残りました。反省を生かし今後も更に多くの方にご来場いただき、また患者さまがいきいきと参加でき、お互いに喜びを分かち合えるような文化祭にしていきたいと思っております。来年はどんな笑顔に出会えるのか楽しみです。



栗・どんぐりつかみ取り



健康チェックコーナー



事前ミーティング風景



学術研修レポート3

「生命倫理学～医療と倫理」 札幌医科大学 医学部 哲学・倫理学 今井道夫 教授

10月の学術研修会は、講師に今井道夫教授をお招きし、医療における倫理についてご講演いただきました。そもそも倫理とは「人の生き方、行為の仕方がかわる」と話され、「結論は一つに絞ることは困難で、あるいは2つの結論がでて、対立することもある。」と孔子の論語を例えにしてわかりやすく説明されました。

医の倫理は古く「ヒポクラテスの誓い」の父権主義から、現代は患者さまの人権や自己決定権が重視され、そこからインフォームド・コンセントが生まれました。20世紀後半における医療の展開は、感染症治療や癌治療の躍進、救急技術の進歩に伴い、安楽死や尊厳死の権利問題、移植や生殖医療の展開など複雑多岐にわたり、ここから生じた倫理問題も数多くあります。今改

めて、「医療」とは何かを考え役割を理解し、専門職として自らの倫理を問う必要に迫られています。おだやかな口調の中にその大切さが強調されていました。

当院には倫理委員会・人権擁護委員会があり、病院の基本理念にそって患者さまの人格を尊重した医療を実践しています。患者さまにやさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、みなさまに満足していただける医療の原点を顧みる良い機会となりました。

